

新しいfsdbファイルを作成する。	2
コンペティションディティールを入力	
参加選手リストの作成	3
GpsDump でwptファイルを作成する。(Geographical file 形式で保存する。)	4
各選手にGPSwpt(パイロン情報)を送信する。	5
設定	
送信	6
タスクを入力していく。	7
ルート設定の入力	8
各タスク結果集計	
各タスクのトラックログフォルダーを作成/指定する。	
GpsDump の設定	
COM ポートを設定する	
各選手のGPSログをダウンロード	9
トラックログの確認	10
Abs (欠席)、DNF(飛ば(べ)なかった選手)、ミニマム距離以上飛ばなかった選手	
各タスク集計後、タスクリザルトを出す。	11
大会集計	12
各/全タスクが終了すれば、レポート→コンペティションリザルトを出す。	
女性のみや学生のみやツノ有りのみの結果を出す場合	

新しいfsdbファイルを作成する。

Fs(1.2.8)フォルダ内の「FsComp.exe」ファイルを実行しFSを起動する。
「File」→「New Competition」(ctrl + N)をクリック、
(次回よりは、「File」→「Open Competition」(ctrl + O)で作成済みのfsdbファイルを指定する)

コンペティションディティールを入力

- ① CIVL公認大会では大会ID(Id)を入力
- ② 大会名(Name)を入力
- ③ 大会開催場所(Location)を入力
- ④⑤大会開催期間を入力
(初日(From(yyyy-mm-dd))と最終日(To(yyyy-mm-dd)))
- ⑥ 世界標準時刻と日本の時刻差を入力(Offset from UTC)
- ⑦ 「Set Scoring Formula」ボタンを押す(下図参照)
- ⑧ その他の詳細を入力

HGS大会では「GAP2002」を選択
「OK」をクリックすると下のダイアログが現れる

GAP パラメータを設定、

HGシリーズ: Min.dist : **6km** , Nom.dist : **35km** , Nom.time : **1.0h** , Nom.goal % : **20%**
(ミニマムディスタンス) (ノミナルディスタンス) (ノミナルタイム) (ノミナルゴール)

「Use Distance Points」、「Use Arrival Position Point」、「Use Time Points」、「Use Leading Points」の項目のチェックを確認

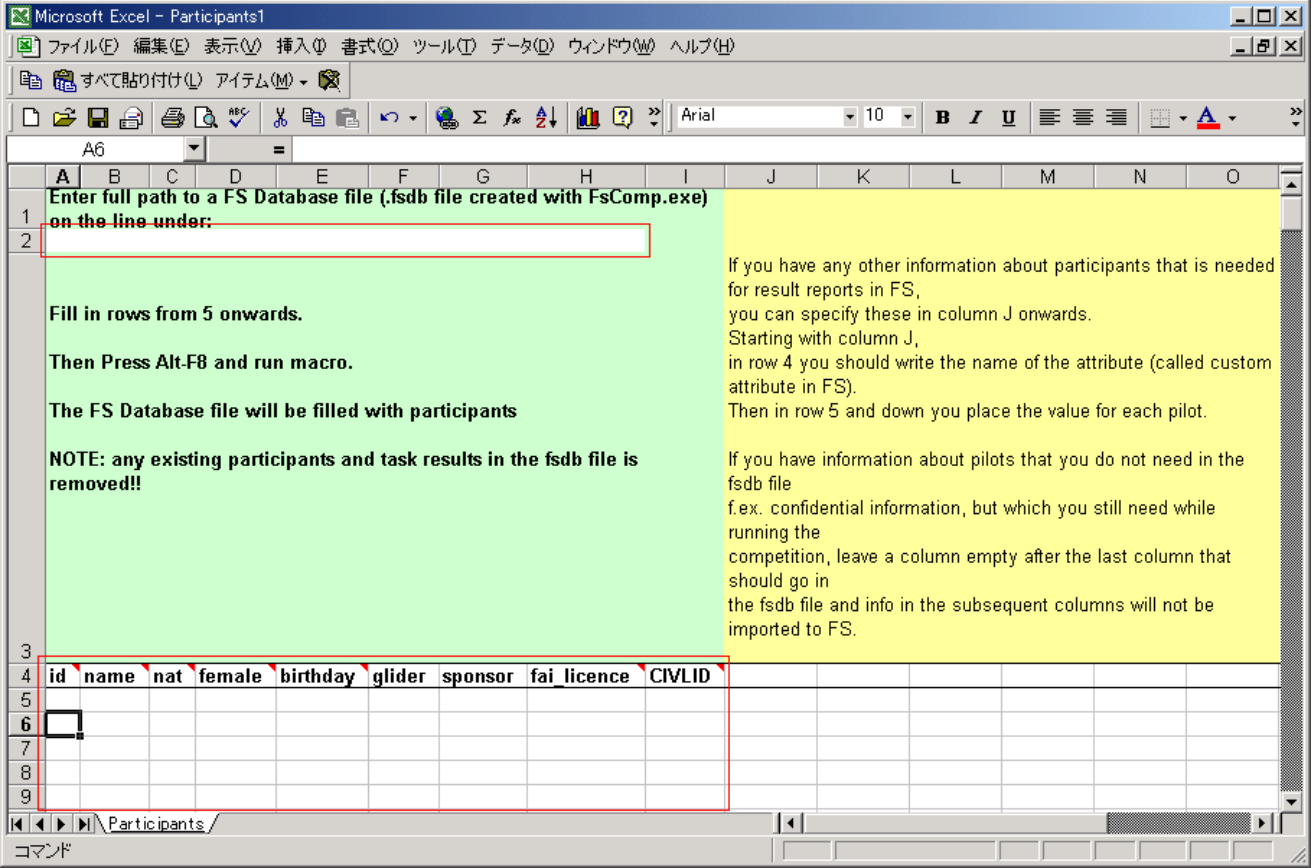
「OK」ボタンを押すと
FSの画面はパイロットリスト表示に移行する。

後で編集したい場合は
「File」→「Edit Competition Details」をクリックする。

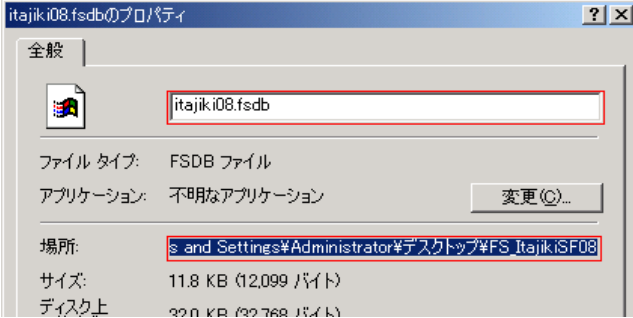
任意の場所に大会用フォルダを作成する
「Ctrl + S」でfsdb ファイルを大会用フォルダ下に保存する。
(自動保存されないの、保存したいときに適時保存するようにする。)

参加選手リストの作成

FSフォルダ内の「Participants.xlt」 ファイルを開く。
「マクロを有効にするか？」とダイアログが開かれるので、「有効にする」をクリックする。



fsdbファイルのフルパスを指定する。
fsdb ファイルがあるフォルダを開き、
fsdb ファイルを右クリックしプロパティを選択し、
プロパティを表示させる。



右図の「場所」をコピーし、2行A段に貼り付ける。
¥を追加し、fsdbファイル名を追記する。

例: C:\Documents and Settings¥Administrator¥デスクトップ¥FS.ItajikiSF08¥itajiki08.fsdb
(エクセルの表記では¥が/と表示される) (↑ 追記部分)

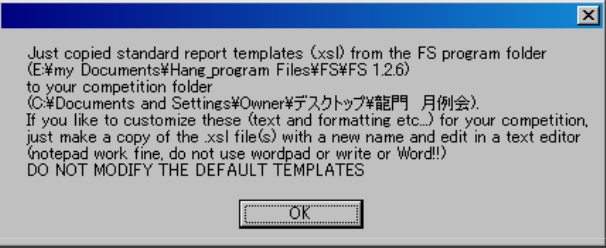
参加選手ごとに下記の項目を入力していく。
(ID、名前等だけでもよい。ただし、CIVL対象大会ではCIVLIDも入力する。)

id	name	nat	female	birthday	glider	sponso	fai_licence	CIVLID	Student	KingPost	Class5
----	------	-----	--------	----------	--------	--------	-------------	--------	---------	----------	--------

女性の場合、female の欄に1又はYESを入力
「ツノありクラス」、「固定翼クラス」、「学生クラス」等クラスわけする場合は、
「J4」セル以右欄に「KingPost」、「Students」、「Class5」等と入力し、
学生の場合はStudent の欄に「yes」入力
ツノありの場合はKingPostの欄に「yes」を入力
固定翼の場合はclass5の欄に「yes」を入力

FsCompを一度閉じ、「Alt + F8」でマクロを実行する。
マクロ名を開かれるので、そのマクロのまま実行ボタンを押す。
FsCompでfsdb ファイルを開きなあと、以下のようなダイアログが出て、
レポートのテンプレートを大会フォルダにコピーするかを確認をしてきたら、OKを押す。

←←← マクロがうまく実行されない場合はエクセルにて
「ツール」→「マクロ」→「セキュリティ」で
セキュリティレベルを中以下に設定

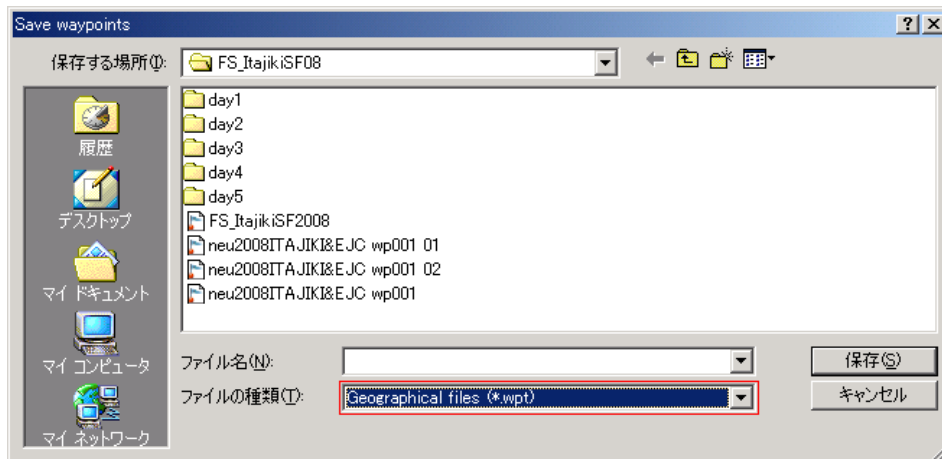


FsCompで「View」→「Participants」、選手リスト画面に移行し、
参加選手リストが正しいか確認し、保存する(Ctrl + S)

GpsDump でwptファイルを作成する。(Geographical file 形式で保存する。)

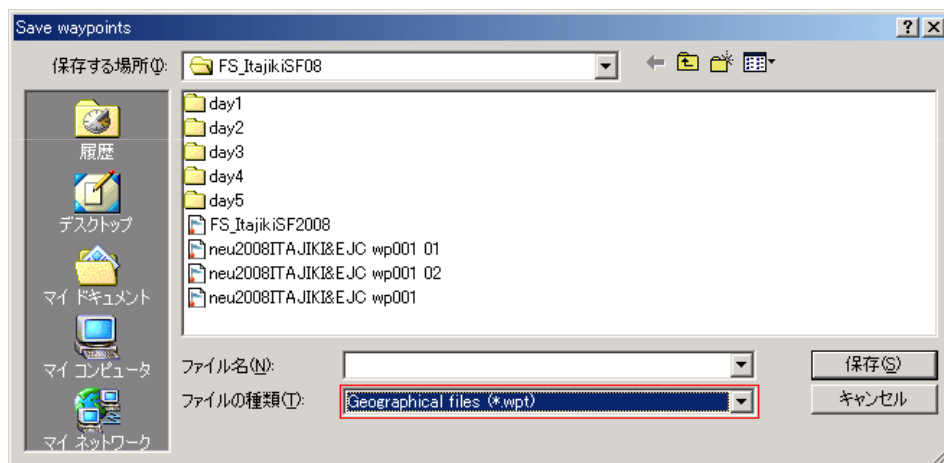
各種ソフトでwpt ファイルを作成したものがある場合

該当ソフトでGPSにwptを送信し、該当GPS機器を接続したのち、
GpsDumpの「Wpts」→「Read xxx(該当GPS機器)」ボタンを押し、wptをダウンロードする。
「Alt + A」でwpt を全選択し(要らないwptがある場合は「Ctrl + クリック」で選択をはずす)、
「File」→「Save wpts. As」を選択し、“Geographical file”形式で名前を入力し大会用フォルダ下に保存する。



GPSで実際にwptを拾ってきた場合

該当GPS機器を接続したのち、
GpsDumpの「Wpts」→「Read xxx(該当GPS機器)」ボタンを押し、wptをダウンロードする。
「Alt + A」でwpt を全選択し(要らないwptがある場合は「Ctrl + クリック」で選択をはずす)、
「File」→「Save wpts. As」を選択し、“Geographical file”形式で名前を入力し大会用フォルダ下に保存する。

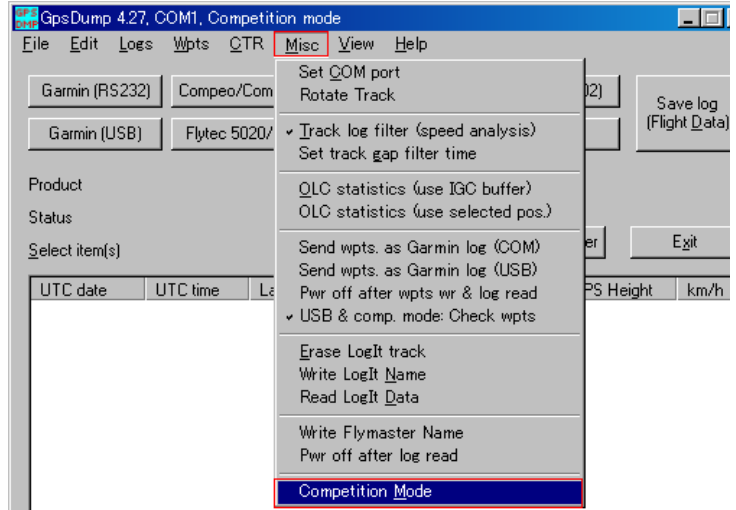


各選手にGPSwpt(パイロン情報)を送信する。

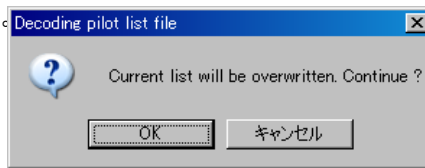
設定

GpsDumpを開き、
「Misc」 → 「Competition Mode」 をクリック
(右図参照)

下のダイアログが出てくるので、
①にチェックを入れ、「Read pilot list」ボタンをクリック。
該当する大会のfsdbファイルを指定し、OKを押す。

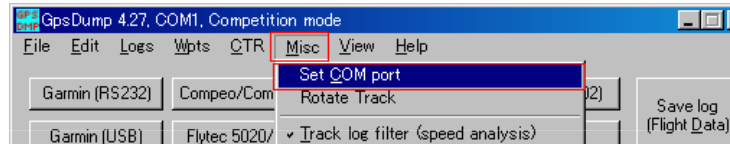


右図ダイアログにて上書きを確認される場合は、OKを押す。



COM ポートを設定する

GpsDump の「Misc」→「Set COM port」
COM ポートを選択し、OKをクリックする。



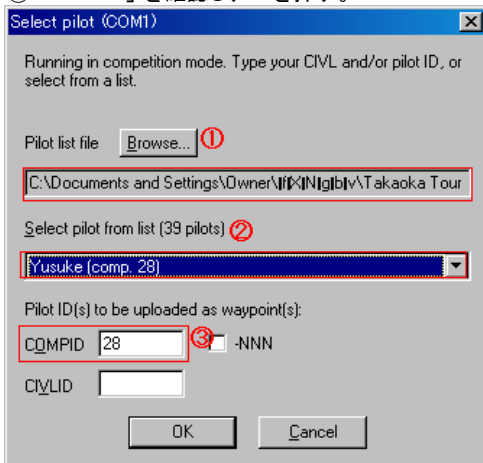
GpsDumpの「view」 → 「Waypoints」でウェイポイント画面にする。
GPSdumpの「File」 → 「Open Wpts」でwptファイルを指定しwptファイルを開く。

選手のGPSをPCに接続していきます。

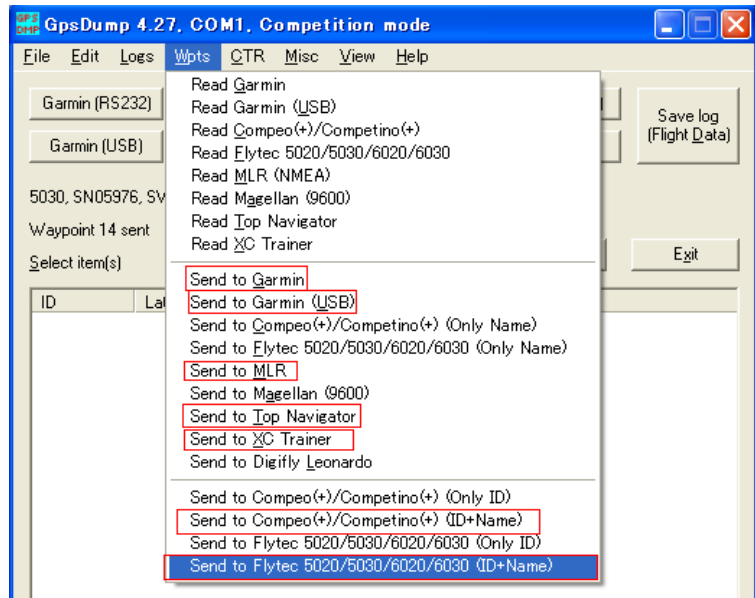
送信

「Ctrl + A」ですべてのwptを選択した後、
GpsDump の「wpt」→「SendOOO」(該当GPS)
右図参照

下図のダイアログが出てくるので、
①「Pilot List File」(fsdbファイル)を確認し、
②「Select pilot」で該当選手を選択し、
③「COMPID」を確認し、OKを押す。

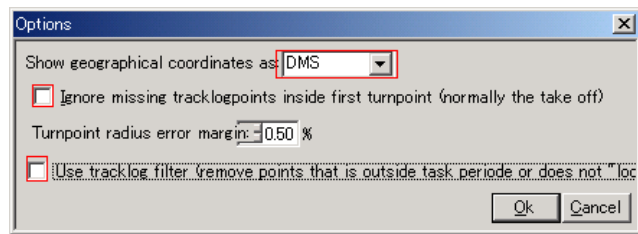


右図のように「OOsent」と表示されるので
その個数を確認。

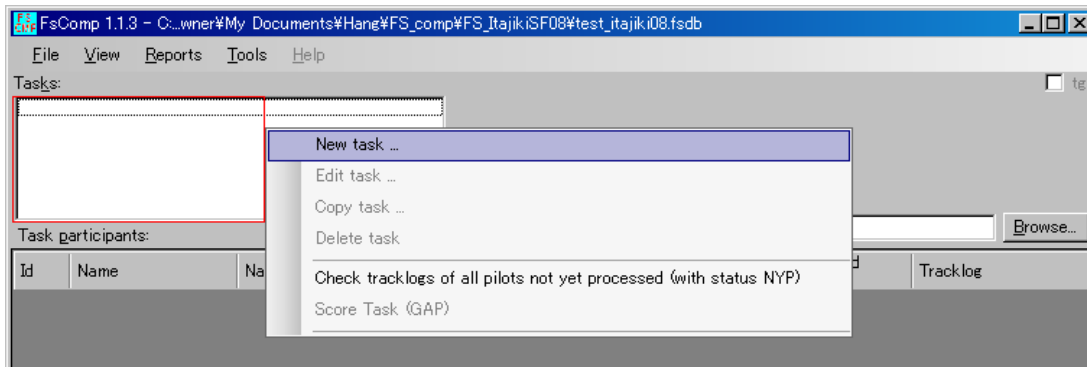


タスクの入力

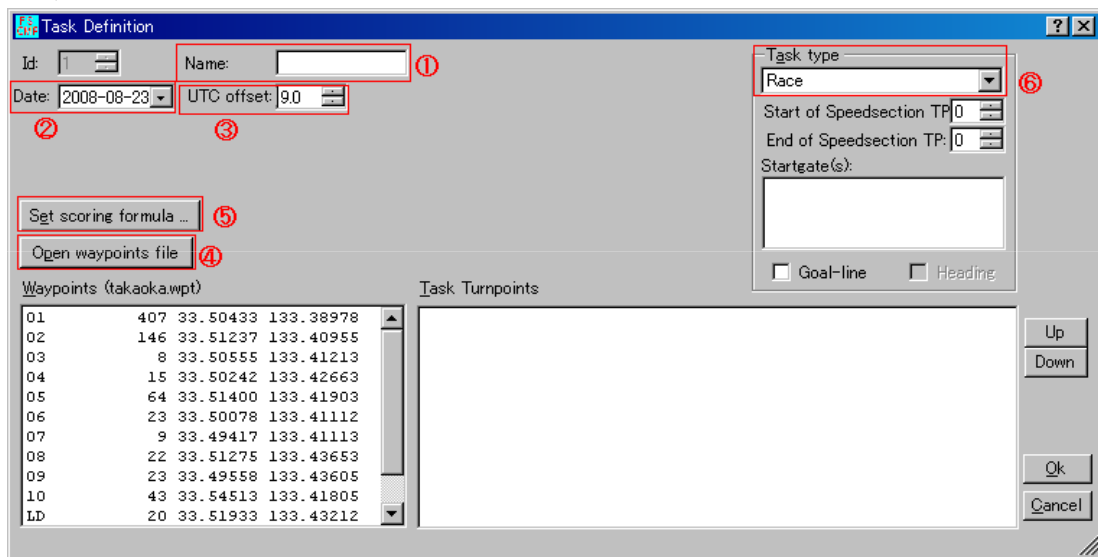
FsCompにて「Tools」→「Options」で右図ダイアログを開き、
 コーディネイトを「DMS」に変更し、
 その他のチェックを外し、OKを押す。



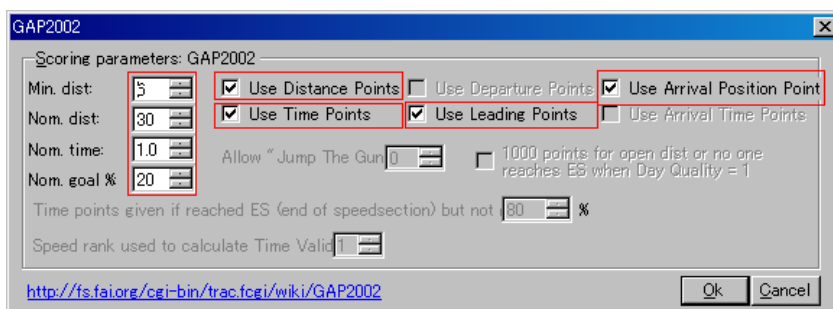
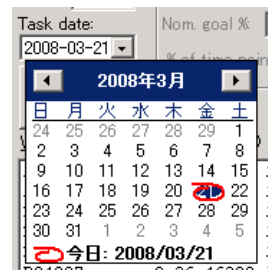
FsComp 「View」→「Tasks」でタスク設定画面に移行し、
 下図 赤囲部分で右クリック → 「New Task」をクリックすると



Task Definition 画面が表示される



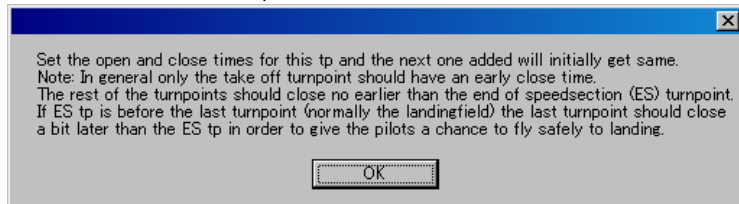
- ① Name を入力 例:「Task1」「day1」
- ② タスクの日付をチェックボックスから選択 (右図参照)
- ③ UTC offset が9.0なことを確認 (日本の場合)
- ④ 使用するウェイポイントファイルを選択すると、表示される。
 (一つ目のタスクで選択すれば、以降のタスクでは選択されている。)
- ⑥ Task type は Race が選択されていることを確認
 (他にElapsed time と Open distanceがある)
- ⑤ Set scoring formula ボタンを押し、GAP2002(HGSの場合)を選択し、
 各設定を確認し、OKボタンを押す。 下図参照
 (「Competition Details」で設定しているのが反映されているので確認する)



ルート設定の入力

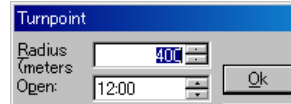
テイクオフパイロンの設定

「Task Definition」画面の左下部分のWPリストからテイクオフを選択し、ダブルクリックすると
下図ダイアログにて、Open/Close時間の説明が出るので、OKを押す。



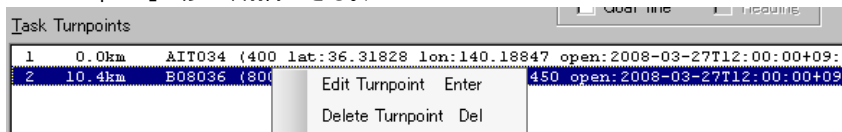
自動的に次から選択するWPには同じ時刻が設定される
注意: テイクオフは少し早めのクローズ時刻を持ち、
他のWPはESの終了時刻より遅くクローズされる。
ESよりも後のWPは各選手の安全を考慮して、
ESよりも少し遅く設定する。

右図(半径、オープン/クローズ時刻)の設定ダイアログが出てくるので、
Radius(半径)とOpen/Close時刻を設定し、Okボタンを押す。



スタートパイロンの設定

左下部分のWaypointsリストからスタートパイロンを選択し、同様に設定する。
(ここでのオープン/クローズ時刻はデパーチャー時刻とは別。)デパーチャー時刻(StartGate(s))の設定は後に記載
半径の設定に注意(右クリック→「Edit / Delete Turnpoint」で修正、削除できる。)

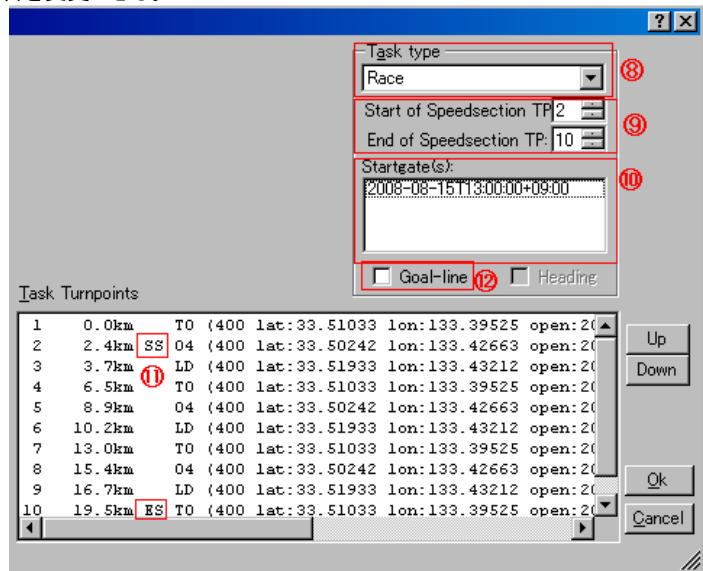


途中のパイロンの設定

同様に設定していく。(デパーチャーパイロンと1stパイロンが同じ場合、2個設定し、半径を変える)
順番を間違った際は右側部分の「up」「down」ボタンで順番を変更できる。

ES(End of speedsection) の設定

同様に設定していく。
半径の設定に注意。
ゴールラインの場合は
右図⑫部分のGoal-line にチェックを入れる。



タスクタイプ、SS、ESの設定

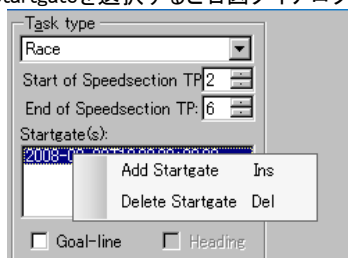
⑧タスクタイプはRace を確認

⑨の「Start of Speedsection TP」のチェックボックスで
「Task Turnpoints」の何番目がSSかを設定する。
すると「Task Turnpoints」のパイロン名の左に
SS マークが入る。(右図、赤部分⑪)

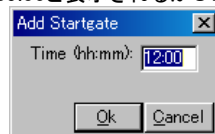
同様にES(End of Speedsection TP) も設定する。

デパーチャー時刻(Startgate(s))の設定

⑩の「Startgate(s)」の中で右クリックすると
下図のように「Add Startgate/ Delete Startgate」が選択できるので
Add Startgateを選択すると右図ダイアログが出てくる。



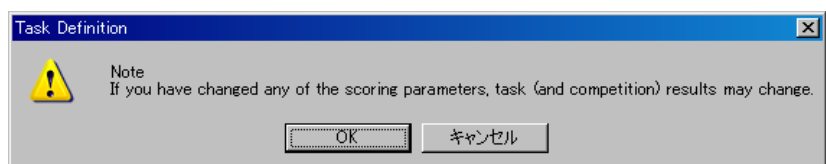
時刻を設定する。(日本時間で設定する)
例: 10分間隔7回だと7個作成する。
(上図⑩スタートゲートの表示が2008-08-15T13:00 +09:00
と後ろに+09:00と表示されるがUTCとの差を表示している)



設定の終了

「Task Definition」ダイアログの右下部分の
OKボタンを押すと右図のダイアログが出てくる

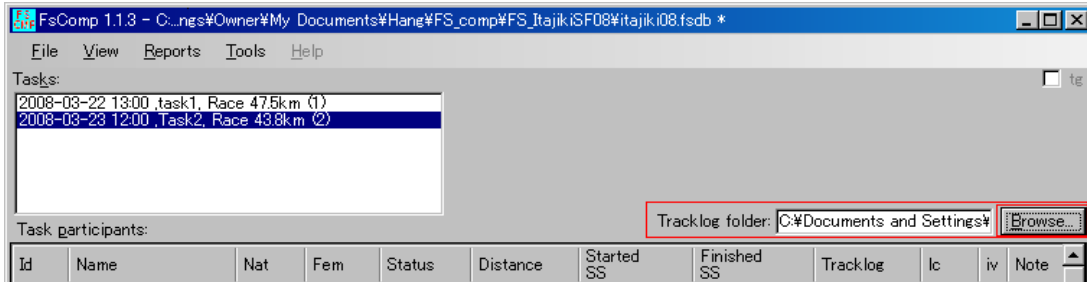
スコアリングパラメータを変更すると、
タスク / 大会 結果が変わるかもしれない
との注意なので、OKボタンを押す。



各タスク集計

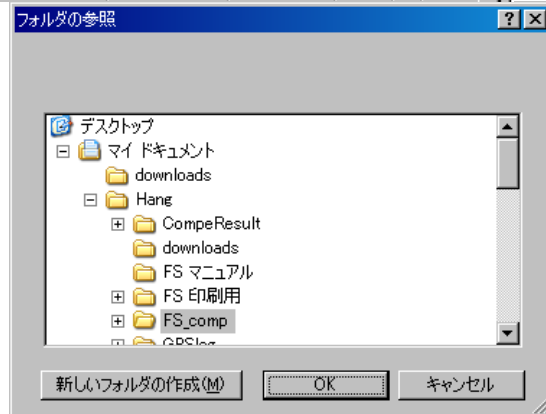
各タスクのトラックログフォルダーを作成/指定する。

「View」→「Task Map」でタスクが正しいか確認し、必要があれば修正し、fsdbファイルを上書き保存する(Ctrl + S)



赤囲部分「Track log folder」の「Browse」ボタンを押すと右図のフォルダの参照ダイアログが表示される
タスクのトラックログを置くフォルダを大会フォルダ下に作成し、指定しOKボタンを押す。

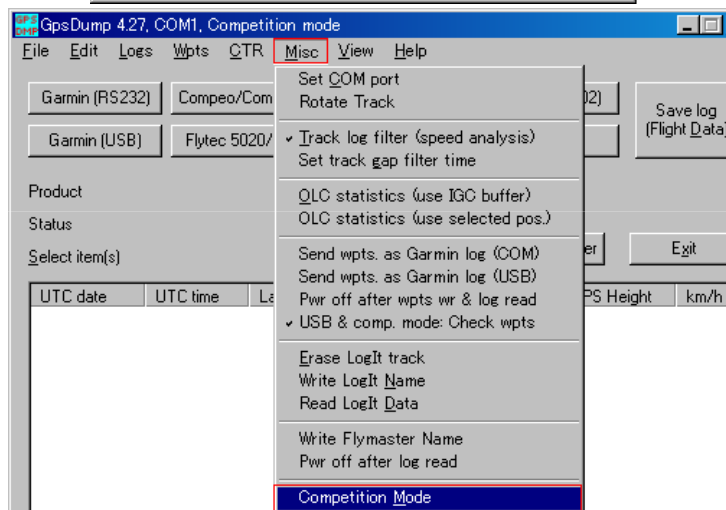
fsdbファイルを上書き保存する(Ctrl + S)



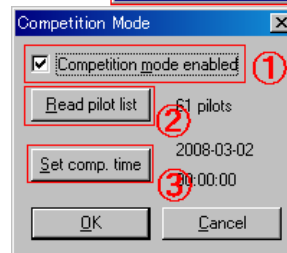
GpsDump を設定する

大会モードの設定

GpsDumpにて「Misc」→「Competition Mode」

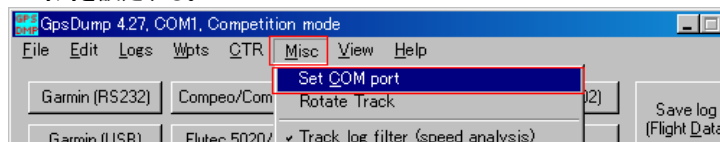


- 右図のダイアログが開かれるので、
- ①のチェックボックスをチェック。
 - ②の「Read pilot list」ボタンをクリックし、大会フォルダ下のfsdb ファイルを指定する。
 - ③の「Set comp. Time」をクリックし、タスクが行われた日程とゲートオープン時刻を設定する。



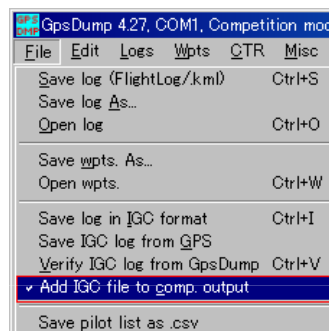
COM ポートを設定する

GpsDump の「Misc」→「Set COM port」で当該COMポートを設定する。



IGCファイルも同時に保存したい場合

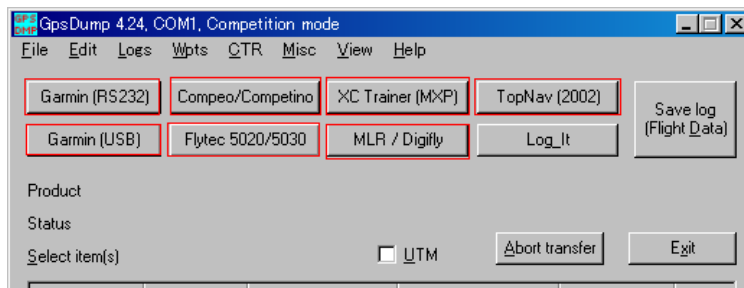
「File」→「Add IGC File to comp.output」にチェックを入れる。



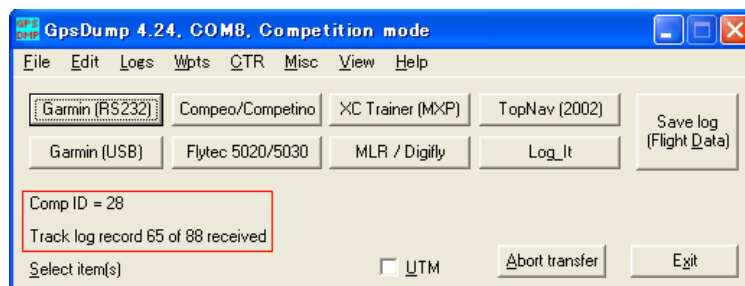
各選手のGPSTラックログをダウンロードする。

各選手のGPSをPCに接続し、
該当GPS ボタンを押し、ダウンロードを開始する。
(右図参照)

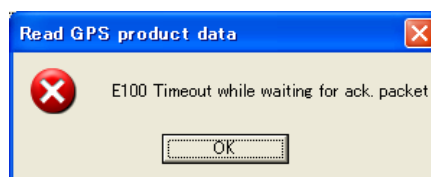
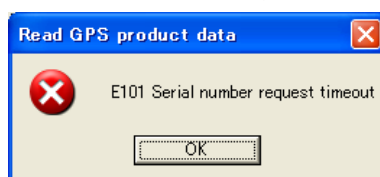
DLが開始される。
XCTレーナーの場合はボタンを押してから
GPSの送信を始める操作が必要



右図の赤囲部分のように「Comp ID」と
「状態がreceivedになっていること」を確認する。



もし以下のダイアログが現れたら、

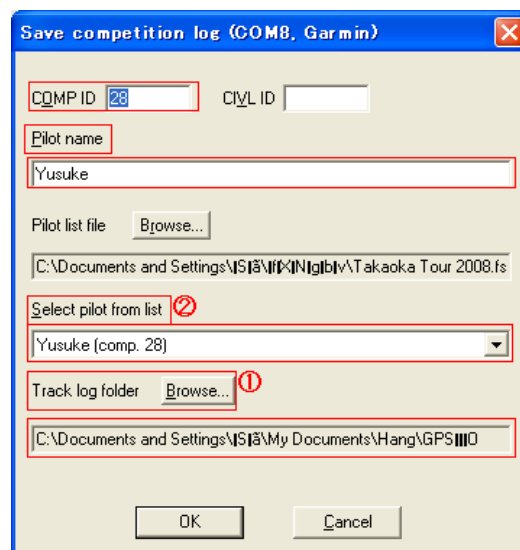


GPSの電源・COMポートの設定を確認。
GPSに応じたDLボタンを押しているか確認。

トラックログのダウンロードが終われば、
右図のダイアログが表示されるので、
①トラックログフォルダー「Browse」ボタンを押して、保存先を選択
各タスクごとにフォルダをつくり、それを指定する。
②「Select pilot from list」のチェックボックスより該当選手を選択する。

「OK」ボタンを押せば、
自動で指定した大会の各タスク用フォルダに「.kml」ファイルが保存される。
「Add IGC File to comp output」がチェックされていれば
「IGC」ファイルも保存される。

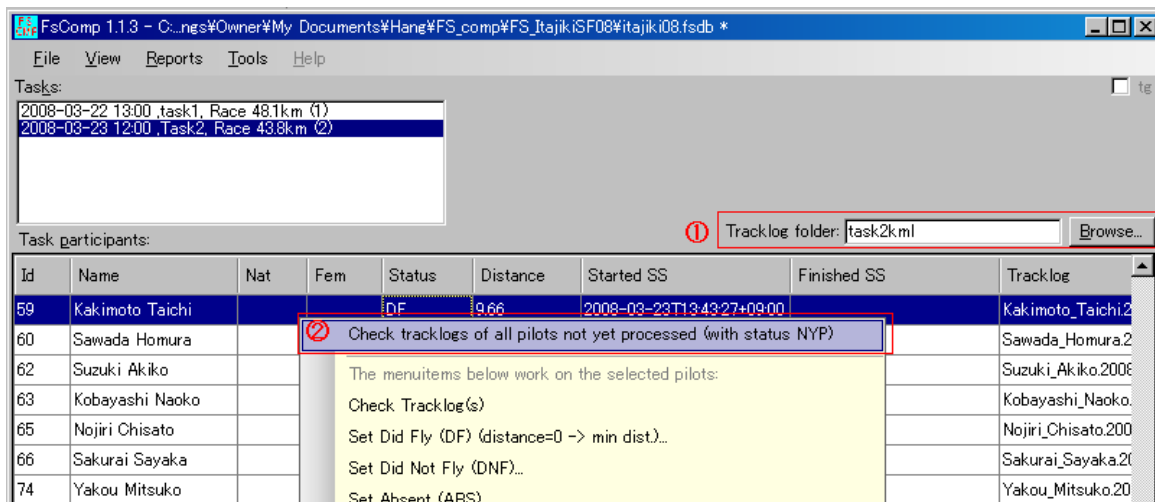
ケーブルを次の選手のGPSに繋ぎ変え、
全選手のDL作業を行う



GPSTラックログの確認

FsCompにて「View」→「Tasks」を開いたものが下図。

左よりゼッケン、氏名、国籍、女性、状態、距離、SSのスタート、SSの終了、トラックログのファイル名、メモ、減点%、減点、減点理由、タスク終了時刻が表示され、状態はABS(欠席)、DF(フライトした)、DNF(フライトしなかった)、GOAL(ゴール)、NYP(未処理)がある。



①「Tracklog folder」の「Browse」ボタンをクリックし、GPSTトラックログを保存したフォルダを指定する。

②FsCompの選手リストにポインタを合わせ、

右クリック → 「Check tracklogs of all pilots not yet processed (with status NYP)」をクリック

各選手の距離等をFsFlightで確認する。

「Distance」欄で確認し、飛行距離等が疑わしい場合は

「tools」→「Fs Flight」でFsFlightを開き

[操作方法はFsFlightのシートを参照](#)

FsFlightの「File」→「Select Task」で該当タスクを選択する

もしくは、FsFlightの「File」→「Select Folder with tracklogs」で該当フォルダを選択する

左下欄の選手を選び、詳細を確認する。

Abs (欠席)の選手の入力

該当選手を左クリックで選択し、右クリックし、

「Set Absent (ABS)」を選択する。

コメント入力ダイアログが表示されるので、入力し、「OK」ボタンを押す。

DNF(飛べなかった選手)の選手の入力

該当選手を左クリックで選択し、右クリックし、

「set Did not fly (DNF)」を選択する。

コメント入力ダイアログが表示されるので、入力し、「OK」ボタンを押す。

ミニマム距離以上飛べなかった選手の入力

該当選手を左クリックで選択し、右クリックし、

「Set Did Fly (distance=0 -> min dis)」をそれぞれ選択する。

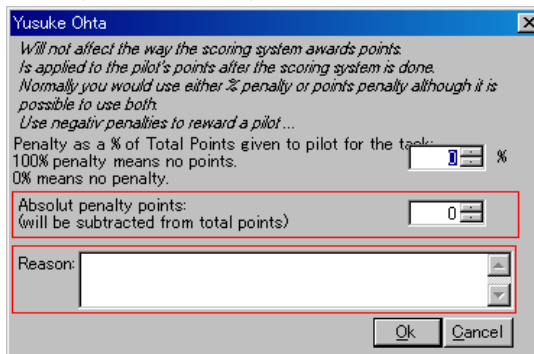
詳細入力ダイアログが表示されるので、入力し、「OK」ボタンを押す。

減点をつける場合

該当選手を選択し、右クリック、

「Set Total Points Penalty」をクリックすると、下図ダイアログが表示され、

下図が表示されるので、各項目を入力し、OK。



減点は全体の集計計算には影響しない。

集計計算が終わってから、減点が適用される。

通常は何%かの減点だが、何点かの減点もできる。

両方使うことも可能。

表彰すべき選手にはマイナスにすると、加算される。

「Penalty as a % of～」

その選手のそのタスクの得点を○○%減点。

100%は0点となり、0%は減点しない。

「Absolute penalty points」

その選手のそのタスクの得点から○○点減点。

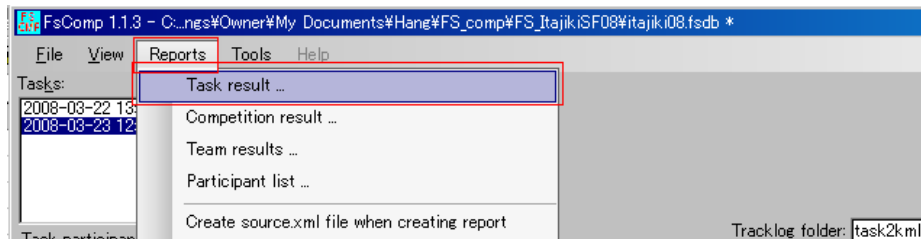
「Reason」

減点(加点)が行われる理由

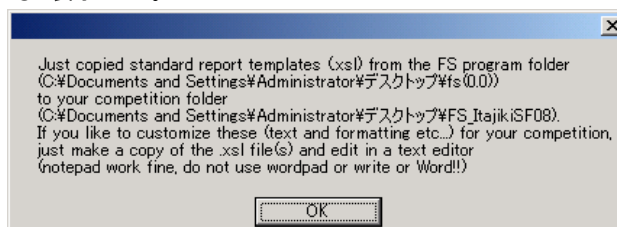
各タスク終了後、タスクリザルトを出す。

FsComp にて

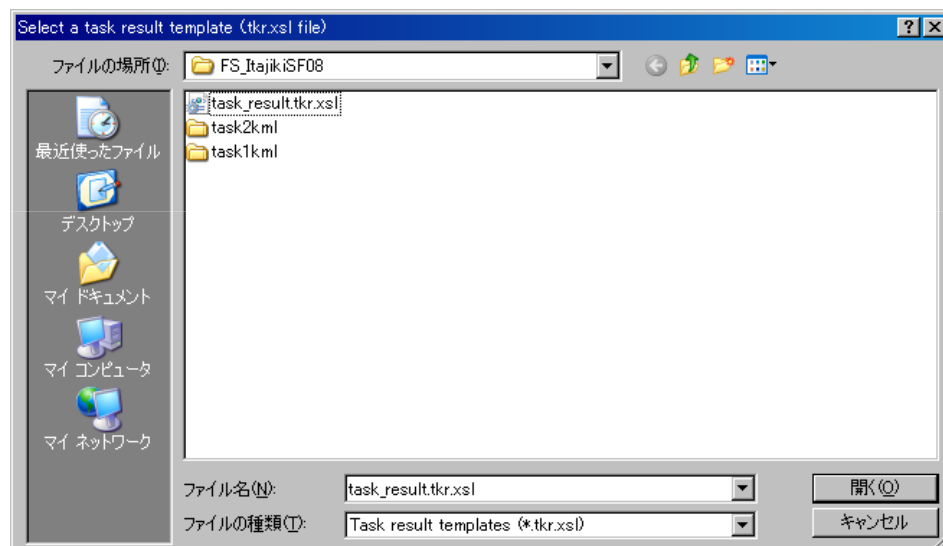
「Reports」→「Task result」を選択



タスク結果出力用テンプレート(xsl ファイル)が、
大会フォルダに無ければ、FSプログラムフォルダからコピーされると表示→OK。



タスク集計用テンプレート (XSL ファイル)を指定



「title」と「status」を入力し、OKを押す。

タスクを選択する。

名前を入力し、Okを押す。

デフォルトではタスクの日付と保存時刻が「task_result_2008-03-23_(20080329-0213).html」のように命名される。

女性・学生またはツノ有り等の結果を出す場合

FsComp の「Reports」

→「Task result with filter...」を選択し、

上と同様にし、「select filter...ダイアログ」の部分で

「Female」欄のチェックボックスにチェックを入れ、

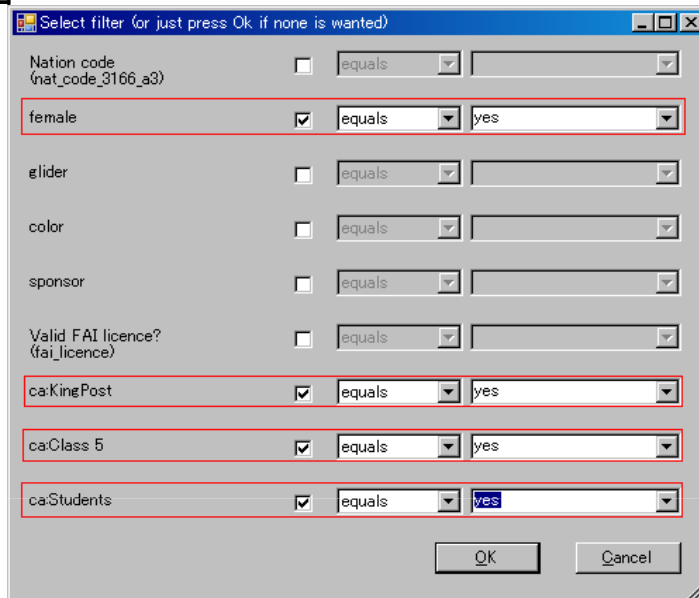
次のチェックボックスで「equals」を選択し、

その次のチェックボックスに当てはまる値を選択し、

「OK」ボタンを押す。

「KingPost」や「Class5」、「Student」も同様

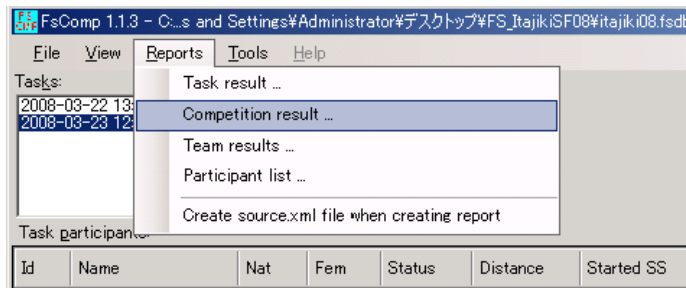
以下同様に作業する。



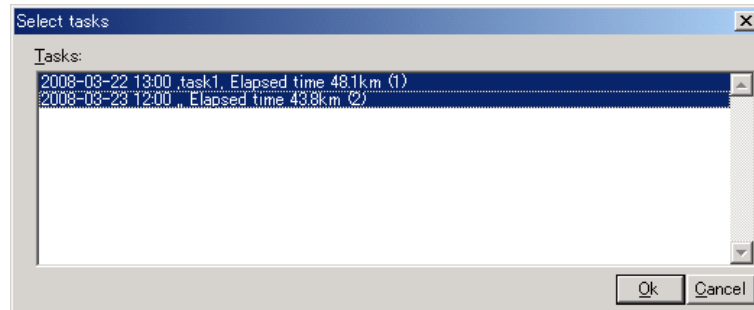
大会集計

各/全タスクが終了すれば、レポート→コンペティションリザルトを出す。

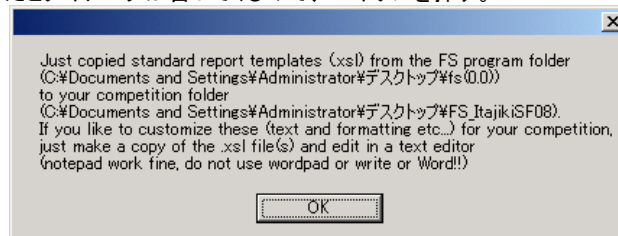
FsComp の「Reports」
→「Competition result」を選択



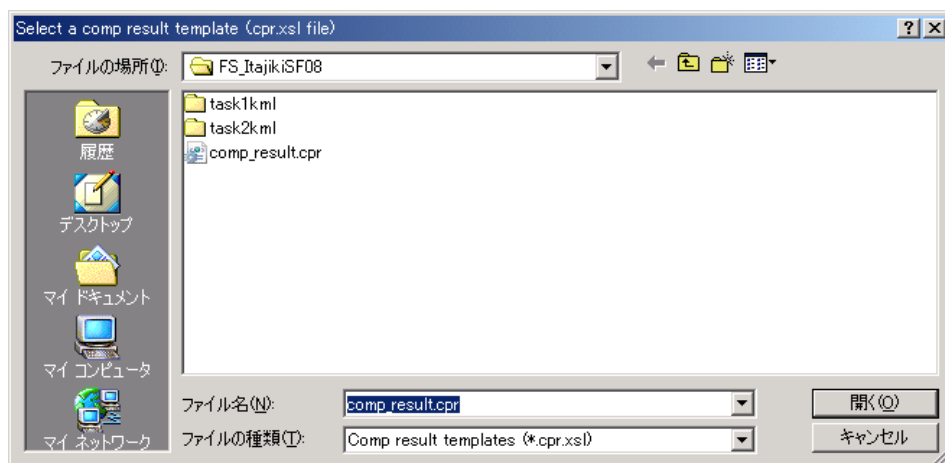
該当タスクを選択し、
OKボタンを押す。



大会結果出力用テンプレート(xsl ファイル)が大会フォルダ下になれば、
FSプログラムフォルダから大会用フォルダにコピーしたとダイアログが言ってくるので、OKボタンを押す。



大会集計用テンプレート(XSL ファイル)を指定する。



「title」と「status」「top_x_tasks」を入力し、OKを押す。

「status」にはステータスを入れる
仮発表や公式結果等

「top_x_tasks」には未入力でよい。

OKボタンを押すとファイル指定を聞いてくるので、
分かりやすく名前を付けて保存。
デフォルトでは大会の日付と保存時刻が「comp_result_(20080405-0350).html」のように命名される。